

産・学・官の連携で都市と地域の未来をひらく 第20回 新都市社会技術セミナー 開催報告 (1/2)

令和5年10月23日(月)に、大手前合同庁舎(近畿地方整備局)において、第20回新都市社会技術セミナー(主催:新都市社会技術融合創造研究会)を開催し、86名が参加し、各研究成果の発表が行われました。

■新都市社会技術融合創造研究会(委員長:大西有三京都大学名誉教授)は、社会資本の整備、維持管理に関わる技術の普及を目的として、平成14年度に設置され、産・学・官の連携によって様々な技術研究プロジェクトに取り組んでいます。

■平成15年のセミナー開催から、今回で第20回目を迎えました。

■産:56名、学:7名、官:23名の計86名の方々が聴講されました。

■なお、本セミナーの講演資料につきましては、新都市社会技術融合創造研究会のホームページに掲載しておりますので、あわせてご覧ください。



セミナーの様子

～講演プログラム～

開会挨拶 大西 有三 委員長(京都大学 名誉教授)

講演1 『「宙水」が道路盛土安定性に及ぼす影響の評価法と対策法の構築』

プロジェクトリーダー 肥後 陽介

(京都大学大学院 工学研究科 教授)

講演2 『道路管理の高度化・効率化に資する4次元インフラマネジメント手法の開発』

プロジェクトリーダー 貝戸 清之

(大阪大学大学院 工学研究科 准教授)

講演3 『国土交通データプラットフォーム構想に基づく道路管理手法から発展させるi-Construction』

プロジェクトリーダー 西山 哲

(岡山大学大学院 環境生命科学研究科 教授)

講演4 『デジタルツインを用いたPC橋の補修・部分更新・撤去技術に関する研究』

プロジェクトリーダー 三木 朋広

(神戸大学大学院 工学研究科 准教授)

閉会挨拶 小林 潔司 副委員長(京都大学 特任教授)

◆大西委員長開会挨拶(概要)

セミナー開催は今年で20回目ですが、多くの課題に産学官の連携で検討を実施し、大きな成果をまとめています。また、非常に先進的な内容が含まれており、土木関係、建設関係等さまざまなことで皆様の生活に結びついている。疑問、興味等があればご意見頂ければと思います。

◆小林副委員長閉会挨拶(概要)

この研究会は2004年の大学法人化に伴い、産学官のプラットホームとして立ち上げました。産学官で議論できる場を設け、それぞれの研究で、新しいマーケットをつくり、技術を発展させながら好循環の仕組みをつくっていくのが本研究の真の目的。今の新しい時代にふさわしいプラットホームになっていければと思います。



大西委員長 開会挨拶



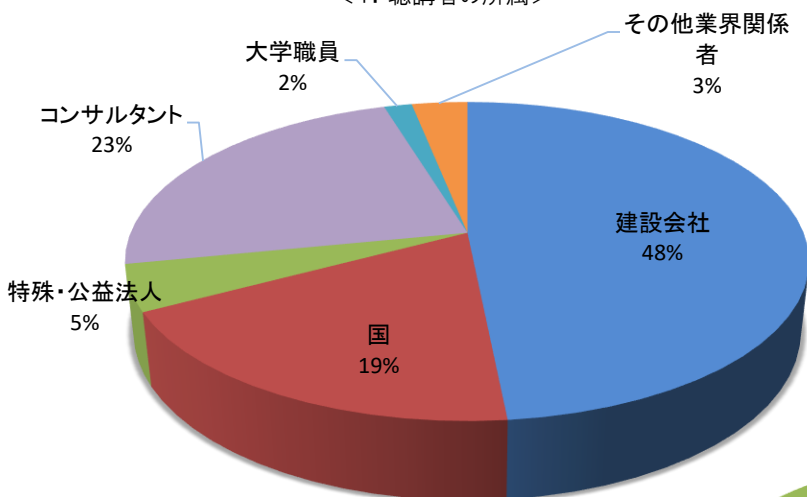
小林副委員長 閉会挨拶

産・学・官の連携で都市と地域の未来をひらく 第20回 新都市社会技術セミナー 開催報告 (2/2)

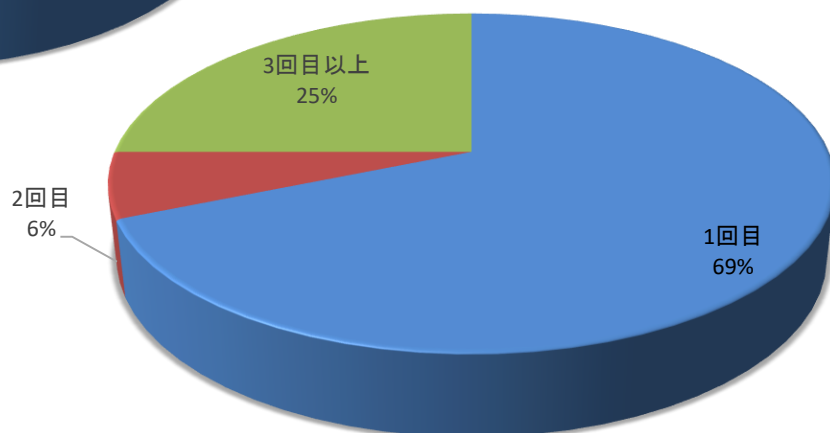
聴講者アンケート結果

新都市社会技術融合創造研究会では、研究会発展のため、聴講者に対し、本セミナーに関するアンケートへの協力をお願いし、聴講者86名のうち、64名にご協力いただくことができました。アンケートへのご協力、ありがとうございました。

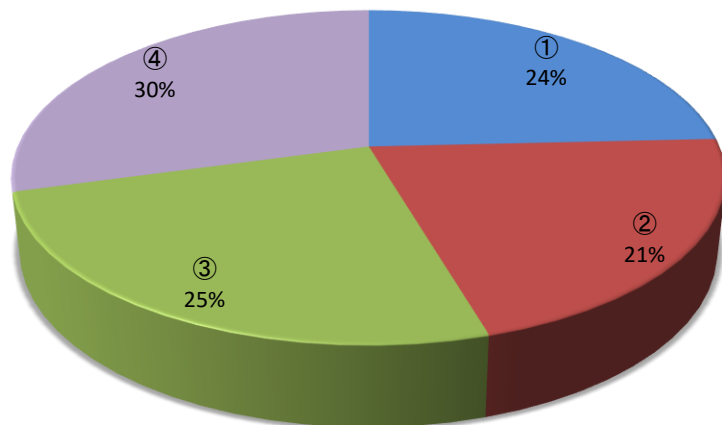
<1. 聴講者の所属>



<2. セミナーへの参加回数>



<3. 興味のあるプロジェクト>



- ① 「宙水」が道路盛土安定性に及ぼす影響の評価法と対策法の構築
- ② 道路管理の高度化・効率化に資する4次元インフラマネジメント手法の開発
- ③ 国土交通データプラットフォーム構想に基づく道路管理手法から発展させるi-Construction
- ④ デジタルツインを用いたPC橋の補修・部分更新・撤去技術に関する研究

<4. その他の意見>

○良かった点

- ・調査、解説、設計、施工にかたよりなく取り扱われてる。
- ・現在の取組が社会資本整備の現状にて実現できる内容へのアイデアになりました。
- ・現場で役に立つ内容だと思いました。

○改善すべき点

- ・時間が短く、内容を十分に理解できない。
- ・良い結果だけでなく、本当に苦労した点やまだ解決してない課題ももう少し取り上げてほしい。